

令和元年5月14日現在

機関番号：33919

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2016～2018

課題番号：16K13207

研究課題名(和文)ヘミングウェイ博物館蔵書の「書き込み」判読研究

研究課題名(英文)Decipherment of the Marginalia of the Paper Materials in the Hemingway museum

研究代表者

柳沢 秀郎 (Yanagisawa, Hideo)

名城大学・外国語学部・准教授

研究者番号：40647989

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,500,000円

研究成果の概要(和文)：本研究の具体的内容は、キューバのヘミングウェイ博物館でデジタル撮影したアイテムの「書き込み(marginalia)」資料の判読、分析と考察、分析結果の編集と公開である。についてはヘミングウェイ直筆の書き込みは判読をほぼ100%完了した。については、地図資料の判読研究により、車によるキューバ・アメリカ間の移動生活と1950年代のヘミングウェイの創作との関係が、また「小切手簿」の判読研究から、1930年から50年代のヘミングウェイの銀行預金、前妻の子供たちへの教育費、さらに所得税の分割払いや出版社からの前借りなど、家計における誠に堅実なヘミングウェイの一面を明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究による成果である、(1)デジタル化された1339アイテムの「書き込み」資料、(2)その中のヘミングウェイ直筆「書き込み」227アイテムの判読データ、(3)これらのアイテムを資料出版年、著者、タイトル、書き込み者などでソーティングできる検索データベースの構築により、キューバのヘミングウェイ所蔵のヘミングウェイに関わる紙媒体資料の半永久的な保護、保存が達成された。また、検索データベースの構築により、世界中のヘミングウェイ研究者がこれらの資料に比較的容易にアクセスできる基盤を整えることができた。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this project is to (1) decipher the marginalia of the paper materials, such as books and maps, that were digitized in the Hemingway museum; (2) analyze them; and (3) publish the results. In regards to (1), deciphering and transcribing have been completed with almost all of the marginalia written by Hemingway. Regarding (2) and (3), the research on the map and its marginalia revealed a relationship between his writing and his car journeys between Cuba and the U.S mainland in the '50s. The research on his handwritten "record of checks", meanwhile, revealed that Hemingway surprisingly took meticulous care with his financial management during the '30s, '40s and '50s, with particular attention being given to the tuition fees of his children from his previous wife, income tax payments, and advances from his publisher.

研究分野：アメリカ文学

キーワード：ヘミングウェイ marginalia digitization 蔵書研究

様式 C-19、F-19-1、Z-19、CK-19（共通）

1. 研究開始当初の背景

戦後の日本が『老人と海』を文部省特選映画に選定し、多くの教育機関がその視聴を促され、また小説の一部が中学校の国語の教科書に採用されるなど、アメリカの文豪アーネスト・ヘミングウェイは教育史的にも日本との関係が深い作家である。このヘミングウェイについて、報告者は平成26年度(2014年)の科学研究費公募で「ヘミングウェイ博物館(キューバ)における「書き込み」資料デジタル・アーカイブ構想」と題した研究課題を申請し採択された。その成果として、報告者は、さまざまな「書き込み」を内包する書籍や地図、カタログなどのアイテム1339点のデジタル化を実施し(図1)、得られた総画像数8015を基にして、検索データベースを構築した(図2-1、2-2)。



図 1

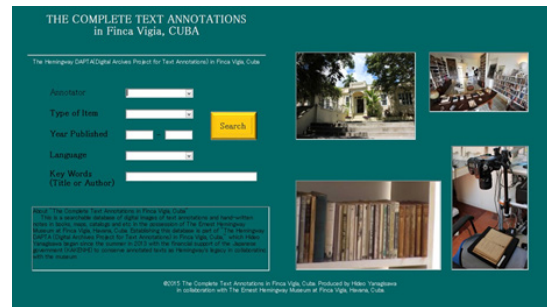


図 2-1

マイクロソフト社のAccessを用いてデータベースを構築するに当たり、①書き込み者(Annotator)、アイテムの種類(Type of Item)、③出版年(Year Published)、④言語(Language)、⑤キーワード(Key Words: Title or Author)によるソート検索を可能にした。この取り組みによって1339の「書き込み」自体は多角的に検索できるようになった。

次の段階として、「書き込み」の判読およびそれに関わる蔵書研究が望まれていた。

Creator	Description	Publisher
Roger Burlingame	No images	
Joseph Herbert Bronsnel, Jr y Robert	No images	
Charles du Bos	No images	
Lynn Montross	No images	
John B. Sanborn	No images	
Ernest Hemingway	Russian Translation of OMS	Российская Улпавис
Ernest Hemingway	None	Charles Scribner's Sons
Joseph Friedman	Inscription: To Ernest Hemingway / in admira	Farrar & Rinehart, Inc.
Ernest Rhyss	Signature	J.M. Dent & Sons Ltd.
Peter Vaneck	None	Charles Scribner's Sons
Allen Tate	Inscription: To E. Hemingway, of Poppel, Esc.	Minton, Balch & Company
Enskine Caldwell	None	Duell, Sloan and Pearce
Margaret S. Marble	Inscription	Harper & Brothers
William Edward Hartpole	Signature	Longmans, Green, and Co
A. J. Cronin	None	Little, Brown and Company
Walter Roidl	Inscription	Philippine Education Co.
Konstantine Simonov	Inscription	Simon and Schuster
David Garnett	None	Chatto & Windus

図 2-2

2. 研究の目的

本研究の目的は、本研究の全体構想は、キューバのヘミングウェイ博物館でデジタル撮影したアイテム1339点、画像総数8015点からなる蔵書の「書き込み(marginalia)」資料の①判読、②分析と考察、③分析結果の編集と公開であった。

この研究活動の学術的独創性は、ヘミングウェイ研究者にとってこれまでほとんど扱われてこなかった蔵書等の「書き込み」を第一級の研究資料として公開する点にあり、この取り組みにより、博物館の資料保存に協力することで、キューバとの学際的連携の構築に貢献し、かつ世界的に閉塞傾向にあるヘミングウェイ研究に「書き込み蔵書研究」という新たな研究手法を提案する意義があると想定していた。

3. 研究の方法

(1) 判読の方法

判読を進めていく順番に関しては、基本的に資料的価値が高いヘミングウェイ直筆の227アイテムを優先的に行った。判読は主に報告者自身と専門業者によって行われた。専門業者の選定については、守秘義務を確認の上、「書き込み」の筆者と内容を明かさずに、未公表のアイテムの判読を試験的に依頼し、判読の正確さを確認した上で行った。業者依頼の判読内容は報告者がひとつひとつ確認し、不足部分や不明な部分は問い合わせながら、進めていった。

(2) 判読後のラベリング

報告者が行った判読結果は直接データベースのテーブル内に書き込み、詳細ページの右側に表示されるようにした (図3)。

業者による判読は、1アイテムごとWord fileの形で提供され、確認の上、報告者によってPDF化し、詳細画面の設置した「Open Text」ボタンを押すと、「書き込み」PDFファイルと同様に、ポップアップ画面として表示されるようにした (図4)。

4. 研究成果

上記研究活動の結果、以下3点の達成に成功した。①「書き込み」資料として最も価値の高いヘミングウェイ直筆の「書き込み」227点をほぼすべて判読することができた。②①で得られた判読結果をPDF化してデータベースに組み込み、対応する「書き込み」資料と連動して閲覧できるようにした。③②の構築により、ヘミングウェイ直筆の「書き込み」に関してはその全容が明らかになり、中でも下記2点のアイテムに対してより深い分析と考察を行うことができた。

ID: 6-6855 (地図、1950年出版)

ID: 15-1049 (小切手簿、n.d.)

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 (計1件)

①

発表者名: 柳沢秀郎

論文タイトル: ヘミングウェイの「小切手簿」—キューバ蔵書研究からわかる作家の家計—

査読あり

学会誌名: 名城大学外国語学部紀要

巻号: 2

頁: 67-81

発表年月日: 2019年03月10日

〔学会発表〕 (計3件)

①

発表者名: 柳沢秀郎

発表タイトル: Hemingway's Maps and Photos in Cuba as Background to "The Strange Country"

学会名: XVIII International Hemingway Conference

発表年月日: 2018年07月23日

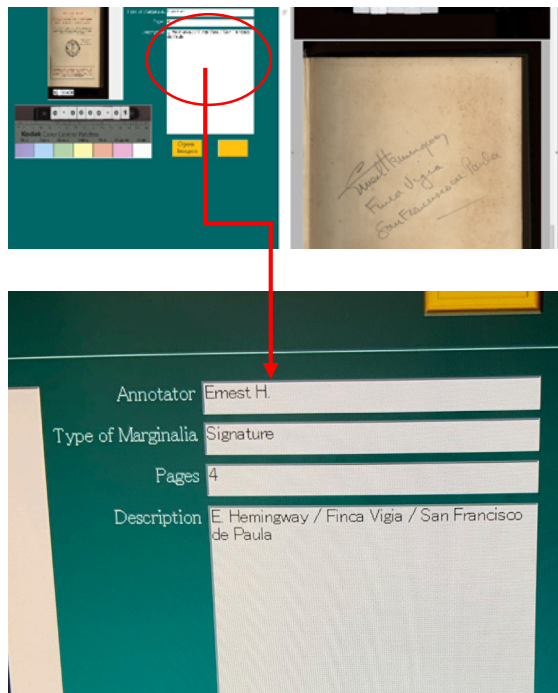


図 3

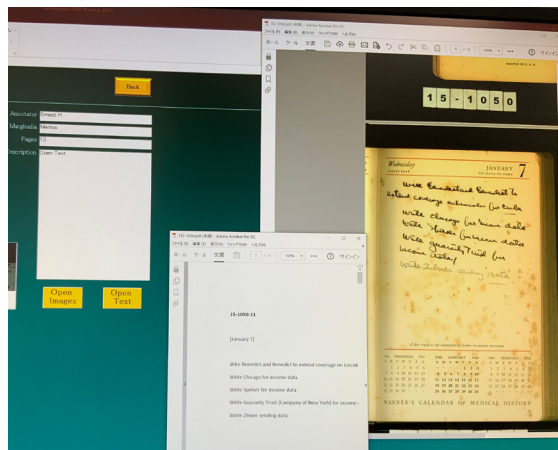


図 4

②

発表者名: 柳沢秀郎

発表標題: Hemingway's Maps and "The Strange Country"

学会名: The 16^o Ernest Hemingway Colloquium

発表年月日: 2017年06月18日

③

発表者名: 柳沢秀郎

発表標題: ヘミングウェイの地図とドライブ小説

学会名: 第34回アメリカ文学会中部支部大会

発表年月日: 2017年04月22日

[図書] (計0件)

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

○取得状況 (計0件)

[その他]

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究分担者

研究分担者氏名:

(2) 研究協力者

Prof. Sandra Spanier (Penn State University)

Isbel Ferreiro Garit (Senior Curator of the Hemingway museum in Cuba)

Idalberto Batista Bles (Librarian of the Hemingway museum in Cuba)

Sheila Álvarez Gárciga (Staff of the Hemingway museum in Cuba)

Kenia Máscaró Cantero (Staff of the Hemingway museum in Cuba)

※科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。